

線形代数学・同演習 B

演習問題 6

1. $A = \begin{pmatrix} -1 & 0 & 2 \\ 1 & 1 & -1 \end{pmatrix}$ のとき、以下の基底に関する T_A の表現行列をそれぞれ求めよ。
- (1) \mathbb{R}^3 の基底は $\left[\begin{pmatrix} 1 \\ 5 \\ 3 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} -1 \\ -4 \\ -1 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} 3 \\ 1 \\ 4 \end{pmatrix}\right]$, \mathbb{R}^2 の基底は $\left[\begin{pmatrix} 7 \\ 5 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} -3 \\ -2 \end{pmatrix}\right]$.
- (2) \mathbb{R}^3 の基底は $\left[\begin{pmatrix} 1 \\ 0 \\ 4 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} 0 \\ 4 \\ -2 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} 1 \\ -1 \\ -1 \end{pmatrix}\right]$, \mathbb{R}^2 の基底は $\left[\begin{pmatrix} 4 \\ -5 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} -2 \\ 3 \end{pmatrix}\right]$.
- 2.† $A = \begin{pmatrix} 2 & 1 & -1 \\ -1 & 0 & 1 \\ -1 & -1 & 2 \end{pmatrix}$ とする. \mathbb{R}^3 の基底をいずれも次のものとするとき、この基底に関する T_A の表現行列をそれぞれ求めよ*1 .

$$(1) \left[\begin{pmatrix} -1 \\ -2 \\ 2 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} -1 \\ 2 \\ -1 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} -1 \\ -1 \\ 1 \end{pmatrix} \right] \quad (2) \left[\begin{pmatrix} -1 \\ 1 \\ 1 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} 1 \\ 0 \\ 1 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} -1 \\ 1 \\ 0 \end{pmatrix} \right]$$

3. $U = \mathbb{R}[x]_3$, $V = \mathbb{R}[x]_2$ とし、写像 $T: U \rightarrow V$ を $T: p(x) \mapsto p'(2x+1)$ で定める*2 .
- (1) T は線形写像となることを示せ .
- (2) U, V の標準基底 $([x^2, x, 1]$ および $[x, 1])$ に関する表現行列を求めよ .
- (3) U, V の基底がそれぞれ $[(x+1)^2, x+1, 1], [x+1, 1]$ のとき、表現行列を求めよ .
- 4.† $V = \mathbb{R}[x]_2$ とし、その上の変換 T を $T: p(x) \mapsto (x+1)^2 \cdot p\left(\frac{x-1}{x+1}\right)$ により定める . このとき、次の問いに答えよ .
- (1) 変換 T は線形になることを示せ .
- (2) V の基底 $[x^2, x, 1]$ に関する変換 T の表現行列 A を求めよ .
- (3) T の階数と退化次元を求めよ .

- 5.* 線形写像 $T: U \rightarrow V$ が全射・単射および全単射であることを次のように定義する：

全射 $\xLeftrightarrow{\text{def}}$ 任意の V の元 v に対して $T(u) = v$ となる $u \in U$ が存在する .

単射 $\xLeftrightarrow{\text{def}}$ U の任意の 2 元 u, u' に対して $T(u) = T(u')$ ならば $u = u'$ となる .

全単射 $\xLeftrightarrow{\text{def}}$ T が全射かつ単射

また T が全単射であるとき U と V は同型であるという . 以下を示せ .

- (1) T が全射 $\Leftrightarrow \dim \text{Im } T = \dim V$ (2) T が単射 $\Leftrightarrow \ker T = \{0\}$
- (3) 任意の n 次元実ベクトル空間 U は、 n 次元数ベクトル空間 \mathbb{R}^n と同型になる .

11 月 14 日分 (凡例：無印は基本問題、† は特に解いてほしい問題、* は応用問題)

講義用 HP: <http://www2.math.kyushu-u.ac.jp/~h-nakashima/lecture/2017LA.html>

*1 つまり、 $T_A: U \rightarrow V$ としたとき、 $U = V$ なので、その基底として同じものをとる .

*2 $p(x)$ を微分した $p'(x)$ において、 $x \mapsto 2x+1$ としたもの .